

# 活動報告書

第 10 期

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日



特定非営利活動法人  
クロスメディアしまだ  
(島田市日之出町 2-3/0547-35-0018)

特定非営利活動法人クロスメディアしまだ  
令和2年度 事業報告(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

NPO 法人クロスメディアしまだでは、10 期目となった令和2年度も継続して活動テーマ『スキだらけのまちづくり』に沿い、地域の持つ魅力や課題を有機的につなぎ、地域に対する愛着や誇りを育む、「スキマ」を埋めて「好き」を作るための取り組みを行った。各種事業と展開するとともに、地域コーディネーターとしての役割を果たした1年であった。

主な事業としては継続的に行っている、「UNMANNED 無人駅の芸術祭/大井川」の実施を通じたアートによる地域づくりへの取り組み、毎月発行の地域情報誌「cocogane(ココガネ)」を通じた地域の情報支援、ICT 推進事業「KOLABO」による子どもの社会教育支援、「島田市市民活動センター」の運営をはじめとした中間支援の取り組みなどを中心とし事業展開を行った。地域を支えるとともに、数歩先を見据えた、当団体ならではの地域づくりに向けた取り組みを行った。

令和2年度 活動領域

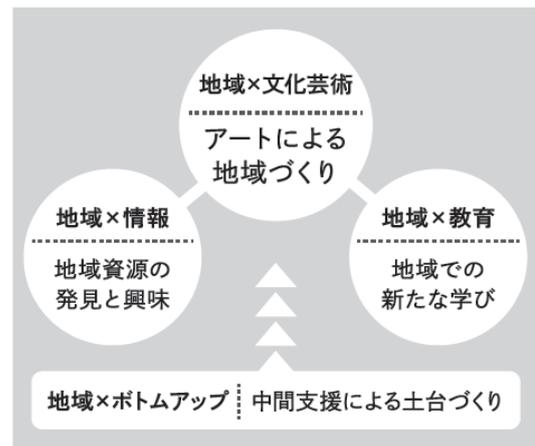


【活動ビジョン】

多様な価値を認め合う  
クリエイティブな地域社会の実現を目指して

【活動テーマ】

スキだらけのまちづくり



【主な事業展開】

- ①市民活動支援に係る情報収集発信事業 <地域×情報>  
地域情報誌「cocogane」発行ほか
- ②地域活性化に資する事業 <地域×教育>  
地域体験事業「こどもわくワーク」  
ICTによる人材育成事業「KOLABO」
- ③まちづくり活動支援事業 <地域×文化芸術>  
「UNMANNED 無人駅の芸術祭/大井川 2021」  
市民文化祭「アートプラット/大井川」
- ④市民活動支援事業 <地域×ボトムアップ>
- ⑤市民活動支援の拠点施設の企画運営管理事業  
しまだ市民活動センター運営  
各種中間支援事業の展開

**地域×情報 <地域資源の発見と興味>**

**①市民活動支援に係る情報収集発信事業に関して**

「地域情報誌 cocogane」の毎月 25 日発行に向け取材・編集・発行を行った。地域の魅力的なヒトや出来事、文化や食をめぐる、地域唯一の月刊誌として、島田市、吉田町、牧之原市の3地域の情報支援を行った。発行は 7 年目を迎えた。

今年度はコロナ禍において、広告協賛量の減少などが顕著であったが、地域情報支援の観点から、誌面ページ数を減らすなどの工夫を凝らしながら、発行を継続した。誌面特集においても、テイクアウト店舗の紹介や、家で楽しむ本の紹介や、映画の紹介など、新しい生活習慣に即した構成を心掛けた。

**【地域情報誌 cocogane(ココガネ)】**

- 体 裁:タブロイド版8ページ(月により4ページ)、フルカラー
- 発行部数:50,000部(新聞折込、施設配布等)
- 配布エリア:静岡県島田市全域、牧之原市全域、吉田町全域



**○令2年度発行の特集**

5月号(4月25日発行号)特集:この本&マンガに会えて良かった

- 6月号(5月25日発行号)特集:おすすめ映画&ドラマを教えてください。
- 7月号(6月25日発行号)特集:島田駅前「プロジェクトC」はじまります!
- 8月号(7月25日発行号)特集:ニッポンの夏、ゴーラーの夏。
- 9月号(8月25日発行号)特集:愛しの“町中華”探訪
- 10月号(9月25日発行号)特集:再発見!地元で楽しむプチトリップ
- 11月号(10月25日発行号)特集:あんなイモ、こんなイモ、さつまいも
- 12月号(11月25日発行号)特集:串にささった美味しいアイツ
- 1月号(12月25日発行号)特集:新年の寿ぎは地酒と共に
- 2月号(1月25日発行号)特集:祝2021年!年男さん・年女さん大集合!
- 3月号(2月25日発行号)特集:ようこそ、無人駅の先のワンダーランドへ。
- 4月号(3月25日発行号)特集:春の息吹を感じるお出かけスポット

加えてFM島田の出演番組「eラジ」においては、誌面情報と連動して情報発信を行うことで、イベント情報等に合わせた効果的な情報発信を行った。

その他、平成27年度から事業展開を行った島田市ポータルサイト「しまいく」運営及び子育てガイドブック「しまいく」発行については、サイト運営者の移行(変更)に伴い発行を取りやめた。

## 地域×教育 <地域での新たな学び>

### ②地域活性化に資する事業に関して

例年、夏休み期間に開催しているお仕事体験イベント「こどもわくワーク」は、今年度はコロナ禍の影響を受け、開催を中止とした。

島田ICTコンソーシアム人材育成部会における「ICT推進プロジェクト事業」での事業においては、「KOLABO I」、秋から冬にはシリーズ講座「KOLABO II」を開催した。10月には小学生を対象とした「ITキッズCAMP」を開催し、宿泊型での学習の機会を創出するとともに、藤枝市との交流会を開催した。1年を通じ、ICT、IoTを技術の習得のみを目的にせず、「楽しい学び・体験」の先でICT・IoTに触れることのできるきっかけ作りを行った。

#### 【島田ICTコンソーシアム事業】

##### ○KOLABO I～キッズICTエキスパート育成プログラム2020

- ・実施日:8月12日～20日
- ・対象:小学1～中学3年生 ○参加費:1,000円
- ・事業内容:4講座開催(プログラミング、マイコンカー、ゲームクリエイター、LINE)

##### ○KOLABO II～キッズICTエキスパート育成プログラム2020

- ・実施日:9月～11月
- ・対象:小学1～中学3年生 ○参加費:講座により異なる
- ・事業内容:2講座開催(ゲームクリエイター、スクラッチ検定)※当初3講座予定1講座中止

##### ○しまだ・ふじえだIT JUNIOR CAMP

- ・実施日:10月31日～11月1日(1泊2日)

- 対象：島田市または藤枝市に在住または在学の小学生 ○定員：30名
- 会場：島田市山村都市交流センターささまほか
- 事業内容：mBotでロボットプログラミング講座、ドローンプログラミング講座



**地域×文化芸術 <アートによる地域づくり>**

**③まちづくり活動支援事業に関して**

UNMANNED 無人駅の芸術祭／大井川として4回目を開催した。これまでの芸術祭に引き続き「無人駅が開けば地域が開く」をテーマに、大井川鐵道の無人駅6エリア(代官町駅、日切駅、福用駅、抜里駅、塩郷駅、下泉駅)と4つの集落(日切エリア、福用エリア、抜里エリア、塩郷・久野協エリア)周辺を舞台に、計24日間開催した。

国内外で活躍する16組のアーティストが参加し、無人駅とそこから広がる集落の資源に焦点をあてた作品や、地域の人々と一体となった体験型の作品を展開したほか、人と人が直接触れ合わずに生まれる「交流や交換」をテーマとした初の全国公募(UnmannedStandProject)の実施や、市民主体で企画する文化やアートの小規模イベントプログラム「アートプラット/大井川」の連動開催など、多様な展開を行った。



コロナ禍という特殊な状況下において、全国各地の芸術祭やアートイベントが中止や縮小するなか、当芸術祭においては、会期を24日間に伸ばすとともに、参加アーティストや発表作品数も増加をさせるなど、「拡大と分散」による環境整備に取り組み、通年通りの開催を行った。作品制作過程においては、集落と作家によるオンラインを活用した協働制作の実施や、県内在住の作家による小学校でのワークショップの開催など、工夫を重ねながら地域住民との交流を図っていった。

会期においては、もともと密になることの少ないエリアでの屋外設置作品に重点を置き、コロナウィルスの影響を受けにくい環境を作れていることは各分野からも評価をいただいた。近隣及び静岡県内をはじめとし、全国各地からの来場者があり昨年度と比べ多くの来場者があった。



また今回は、「第25回ふるさとイベント大賞ふるさとキラリ賞」を受賞したことにより当芸術祭の知名度が全国的に飛躍的に上がったことも成果であった。文化芸術の枠を超え、「地域づくり」の視点からも評価いただけたことは当芸術祭が目指してきたことの評価であると考えている。

アーティストの表現プランにおいては、当該エリアの様々な素材が軸となっていった。大井川に残る伝説、茶畑の雄大な風景など土地の持つ力を表現する作品や、「誰か」とのリレーを行うコミュニケーションをテーマとした作品をはじめ、地域の人々の記憶や思い出といった、開催回を重ねるごとに「集落に生きる人々」が登場する作品が多く見られた。いずれも、「ここでしか体感することのできない」作品となった。

#### 【UNMANNED 無人駅の芸術祭/大井川 2021】

○会期:2021年3月5日(金)~28日(日)※計24日間

○会場:大井川鐵道の無人駅とそこから広がる集落(静岡県島田市・川根本町)

○参加作家:計16組(五十音順):安部寿紗・形狩り衆・カトウマキ・木村健世・小鷹拓郎・  
小山真徳・さとうりさ・三本木歓・澁木智宏・ナカムラマサシ・夏池篤・ヒデミニシダ・  
ひびのこづえ・村上慧・歪んだ椅子・カ五山(加藤力 渡辺五大 山崎真一)

○主催:NPO法人クロスメディアしまだ ○支援:静岡県文化プログラム推進委員会

○協力:大井川鐵道株式会社、島田市、川根本町

○助成:福武財団「アートによる地域振興助成」、島田市「アートによる地域づくり推進事業」、  
ふじのくに#エールアートプロジェクト

また、当芸術祭の一番の特徴であるのが、芸術祭を支えてくださる地域住民によるサポート体制や、ボランティアサポーターによる活動といえる。複数年の取り組みを通じ地域における理解と期待の高まりを感じた。集落の人々においては、アーティストの制作から滞在の支援まで快く引き

受けて頂くとともに、会期中は来場者にお茶をふるまい、自ら作品の見どころや良さをガイドする姿が多く見られた。芸術祭に自発的に関わる姿勢は確実に強くなっていることがうかがえるとともに、地域活性や地域再生につながる取り組みとして、着実に根付いてきている。サポーターも全国各地から参加や、大学生による滞在を通じたサポーター参加などもみられた。

今回の開催を通じ、アーティスト、地域住民、来訪者、サポーター等、多様な人の化学反応の加速を感じるとともに、今後は、「UNMANNED 無人駅の芸術祭／大井川」が地域文化のプラットフォームになっていくことを目指していく。



多くの住民の協力で完成し、象徴的な作品となった『盃と沢蟹』



コロナ禍での取り組みとして初の屋外パフォーマンス公演を実施した



「ちやばらのカーテン」は恒久作品として保存。「表参道」は次年度再登場。



サポーター、地域住民など人々の関りしろとして芸術祭が機能している。



## 地域×ボトムアップ <中間支援>

### ④市民活動支援事業および⑤市民活動支援の拠点運営に関して

島田市市民活動センターの運営を中心に、セミナーの開催や市民活動の各種相談の受付など、中間支援に関する取り組みを行った。「市民活動の成長がまちの成長～市民力の活きる協働のまちづくりに向けて～」をテーマに、「ひらく、つながる、生まれる」の事業方針のもと市民力の活きる協働のまちづくりに向けた中間支援機能として、潜在的活動層の掘り起こしと、既存の活動実践者層への取り組みを行った。

島田市をはじめ焼津市や掛川市での講座の開催など、志太榛原地域、中東遠地域と幅広い支援を行った。菊川市や焼津市では市民活動向け助成の審査員を務めるとともに、静岡大学ではNPO・ボランティア論での講座登壇を行った。当団体の設立時から行ってきたネットワークと各種取

り組みのノウハウを活かした実践的な支援を通じて、地域コーディネーターとしての役割を果たしたといえる。

### 【島田市市民活動センター中間支援業務(島田市委託事業)】

市民活動センターでは会議室などの施設利用に加えて、市民活動団体や NPO、ボランティアなどへの支援に加え、これから活動を始めようとする皆様を支援。運営テーマに『ひらく、つながる、うまれる』を掲げ、より多くの市民が市民活動に参加していくための環境づくりを進めた。

- ・実施場所: 島田市市民活動センター(島田市本通三丁目6番の1)
- ・期間: 令和2年4月1日～令和3年3月31日
- ・主な実施内容
  - ・市民活動に関する情報の発信(市民活動センター通信の発行(年4回)他)
  - ・公式サイトを設置及び活用(<http://scsc.jp>)
  - ・市民活動の相談対応及び市民からの市民活動に関する相談対応
  - ・アンケート調査(市民活動への新型コロナウイルス感染拡大の影響等について)
  - ・市民活動センター通信特別号の発行(コロナ禍での市民活動)
  - ・アンケート調査(高校生への市民活動意識調査について)
  - ・市民活動体験及び発表の場について(アートプラット大井川)
  - ・テーマ別編集 NPO HELP PAPER「市民活動のヒント」発行



### 【島田市協働のまちづくりセミナー(島田市委託事業)】

参加者が「自分の持ち味とまちのつなぎ方に気づく」、「島田市の現状・未来・課題を自分の言葉で語れる」ことを目指して全四回の講座を開催。市民レベルで課題を見つけ、その課題に向けて主体的に行動できる人材の発掘及び育成を行うとともに、今後の島田市における市民活動によるまちづくりを推進することを目指しました。

- ・開催: 第一回: 12月6日、第二回: 12月17日、第三回: 1月21日、第四回: 2月25日
- ・講師: 天野浩史氏 / NPOESUNE 代表理事※メイン講師



【焼津市市民協働人材育成講座(焼津市委託事業)】

焼津新元気世代プロジェクト関連事業として、既存団体の活動のスキルアップやレベルアップを目指して開催。会場とオンライン配信を併用したハイブリッド開催とした。

- ・第一回:「参加を科学する、場・組織・環境のデザインから考えよう。」  
(10月8日、講師:天野浩史氏/NPOESUNE 代表理事)
- ・第二回:「好きを仕事に! 私が楽しい! をみんなの楽しい! に変える巻き込み術」  
(10月22日、松木季代子氏/株)ボクラノマチ代表取締役)
- ・第三回:「いくつになってもイキイキ元気に! マージャンから生まれる仲間づくり」  
(11月28日、松村範子氏/NPO 法人しずおか健康麻将の会)

※いずれの会場も焼津市市民活動交流センターくささ~

【NPO プレゼント講座 2020 志太榛原地域((公財)静岡県労働者福祉基金協会委託事業)】

- ・第一回:「NPO によるマーケティング広報講座」  
(11月8日、講師:河井孝仁氏/東海大学広報メディア学科教授)
- ・第二回:「これからの地域とアートの関わりとは」  
(2月17日、講師:山出淳也氏/NPO 法人 BEPPUPROJECT 代表理事)

【NPO プレゼント講座 2020 中東遠地域((公財)静岡県労働者福祉基金協会委託事業)】

- ・第一回:「まちを育てる! 戦略的クラウドファンディングの活用法!」  
(11月14日、講師:土肥潤也氏/(一社)トリナス代表理事、  
木下聡/日本ファンドレイジング協会静岡チャプター代表)
- ・第二回:「ふじのくに地域芸術祭セッション! なぜ「まちづくり」にアートが必要か?」  
(1月30日、講師:谷津倉龍三氏/富士の山ビエンナーレ、横山忠志氏/遠州横須賀ちっちゃな文化展、羽鳥祐子/原泉アートデイズ!、笠原活世/まち×人×アートプロジェクト、大石歩真/UNMANNED 無人駅の芸術祭)

いま、改めて学びたい、市民活動の広報戦略

## NPOによるマーケティング広報講座

11/8

13:30~15:30 (開場13:00)

500円 (前席)

講師:河井 孝仁氏

UNMANNED 無人駅の芸術祭 / 大井川2021秋祭典企画委員会

## これからの地域とアートの関わりとは?

2/17

19:00~21:00 (開場18:30)

講師:山出 淳也氏

## まちを育てる! 戦略的クラウドファンディングの活用法!

11/14

13:30~15:00

講師:土肥 潤也氏

## ふじのくに地域芸術祭セッション / なぜ「まちづくり」にアートが必要か?

1/30

13:30~15:30

講師:谷津倉龍三氏、横山忠志氏、羽鳥祐子氏、笠原活世氏、大石歩真氏

## 【外部講師等参加(一部)】

- ・菊川市 1%地域づくり活動交付金審査委員会審査員
- ・焼津市市民公益活動事業費補助金審査員
- ・静岡大学「NPO 論」講師
- ・静岡大学アートマネジメント特講(地域創造学環)

## 【視察研修】

- ・研修テーマ「芸術祭運営団体の基盤とプロジェクト運営について」

研修先: NPO 法人 BEPPU PROJECT、日時: 9 月 8 日～10 日

### 理事長所感～10 期を終えて～

地域づくりを行う NPO 法人として、10 期を終えた。新型コロナウイルス蔓延という、歴史的な一年において、地域社会に対して一定の活動展開ができたと思う。

地域における、さまざまな取り組みや事柄が、大きく変化していく中、ジャンルを横断し、横串を指す独自の事業展開を行うことで、行政や企業とは異なる、地域における第三のセクターとしての役割を果たすことができたといえる。

市民や団体への支援においては、市民活動センターをはじめ近隣市とも連動し、当団体の有するノウハウやネットワークを生かした市民や団体への支援を行い、活動のボトムアップに向けたきっかけを作ることができた。各種事業の実施にあたっては、zoom などのシステムを多用した講座の配信を行うなど内容や方策に工夫を凝らしながら実施をした。

また、地域情報誌 cocogane は、地域における唯一の定期フリーペーパーとして愛読者の増加を実感するとともに、社会の IT 化とともに広がる情報格差を埋めるための支援の役割を担っている。在宅などの時間が増えたこともあり、読者層の広がりも実感した一年であった。

「子ども」「アート」という分野においては、地域づくりの視点から取り組みを行うことで、全国にも誇れる地域に根差した独自のモデル事例が構築されているといえる。特に UNMANNED 無人駅の芸術祭においては、地域芸術祭として視察や研究対象としての受け入れも実施をするなど、新たな芸術祭の在り方を提案できている。

当団体の基盤はコンパクトであり、地域の方々や様々な団体との協力・協働のもとで各種プロジェクトを実施してきた。社会全体においても、人口減少とともに社会的機能の維持が困難になっていく。その中で、ヒトやモノ、活動の「コーディネート」という役割はますます重要となっていくといえる。10 期で養った大きな強みを生かした活動を実施していきたいと考える。

当 NPO 法人が無事 10 期を終えることができ、常に団体の支えとなってくださる理事・会員をはじめ、様々な事業に協力をいただいた地域の皆さまと関係者の皆さまに深く感謝いたします。